

南海トラフ地震を想定した事業規模概算

1. 災害廃棄物発生量予測

環境省が設置した「大規模災害発生時における災害廃棄物対策検討会（旧称：巨大地震発生時における災害廃棄物対策検討委員会）」が第1回の委員会で提示した「阪神淡路大震災・東日本大震災と南海トラフ巨大地震・首都直下地震の概要」では、巨大地震において発生すると思われる災害廃棄物の総量を次表のように推計した。

想定する巨大地震	災害廃棄物発生総量	
		東日本大震災比
首都直下地震	1. 0億トン	5倍
南海トラフ地震	2. 5億トン	13倍

2. 東日本大震災における実績

東日本大震災で発生した番号不明被災自動車の台数実績値、及びそのリサイクル料金の預託を用途に出えんした特預金の額の実績値は次表の通り（2011年度～2014年度）。

台数	12,621台
台当り費用	14,720円
台当り預託金額	10,700円
台当り関連事務委託費 ※	4,020円
総費用	185,781,120円

※イニシアルコストを含む

3. 概算

前記1の推計値（東日本大震災比13倍）と2の実績値から（台当り費用及びイニシアルコストで積算）、次表のように事業規模の概算を導いた。

台数	164,000台
台当り費用	11,900円
台当り預託金額	10,700円
台当り関連事務委託費	1,200円
イニシアルコスト	10,000,000円
総費用	1,961,600,000円

以上